

様式

技術名称	海底着座型ボーリング機を用いた簡易海洋地盤調査	技術の分類	調査	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	—
会社名等	基礎地盤コンサルタンツ株式会社	担当者	野村英雄	連絡先	03-6861-8835
技術の概要	近年、洋上風力発電に代表されるように、大水深・多数地点における海上地盤調査の必要性が急増している。しかし海上ボーリング調査では、海象条件によって調査可能時期が限定されたり、水深に対応可能な水上足場が必要となるなど、厳しい仮設・工程条件が要求される。本技術は大水深に対応でき、かつ調査に必要な時間も短いため短時間で多数地点を調査できる簡易地盤調査手法である。	添付資料	パンフの有無	無	
			その他の資料	無	
技術の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上調査で実績のあるコーン貫入試験を海上調査に適用した調査手法である。 ・調査期間が短く、GL-30～60mまでの地盤調査は1～2日で完了する(調査期間は地盤の硬軟によって左右される)。 ・貫入装置は水深3000mまで対応可能である。 ・コーンの貫入が不能なN値の高い硬質土砂層を突破するための掘削機能を備えている。 ・地盤データは2cm毎に採取され、ボーリングよりも細かい土質判別が可能。 ・海外においては海上調査でも数多く適用されている。 ・コーン貫入試験では土試料の採取ができず、目視による試料チェックができない。また、乱れの少ない試料採取もできないため、室内試験が実施できない。 ・ただし、掘削ツールを変えれば乱れた試料の採取も可能 	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・岩盤(堆積軟岩)のような硬質地盤における調査には適さない。 ・専用船あるいは艀装した専用台船を用いて調査するので、調査数量が少ないとボーリングより不経済になることがある。 		

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。